

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	FC延岡AGATA	A	● 0 - 6	4年ぶりの九州リーグ。今季の目標は九州リーグ残留。楽しみでしかなかった開幕の相手は優勝候補のAGATAさんとの対戦。 前半は、自分達がどれだけ耐えられるかをテーマに戦ったが、3失点を喫してしまった。後半は、自分達のサッカーをしてみたが、またしても3失点。 選手は初めての九州リーグ。動きの強度（切り替え）、プレーの質、フィジカルコンタクトも劣ってしたが、とても良い経験が出来たと思う。 日頃からトレーニングの強度を上げる事で、後期は相手が慌てる様な試合をしたい。
2	Brew KASHIMA	H	● 0 - 3	卒業生もお世話になっているKASHIMAさんとの対戦。 最初から自分達のサッカーで挑んだが、前日の疲労、失点したことからのラインコントロールが上手くいかず、追加点を与え万事休す。 2日で勝点0。仕方ないと言えば仕方ないかもしれないが、次節に繋げるためにも得点を取りたかった。 3節は、KAJIKI FCさんとの対戦。絶対に負けられない試合になる。時間は限られているが、最高の準備をして臨みたい。
3	KAJIKI F.C.	A	● 1 - 4	絶対に勝ち点が欲しかった試合。 前半に、先制を許してしまったが、その後すぐに追い付けたことは良かったが、まだまだ、チームに戦術を落とし込めてないのが現実。 しかし、リーグは待ってくれない。選手も勝てない事に、ショックはあるみたいだが、下を向いてる時間はない。ここを乗り越えてこそ、道は開ける！ 次節はホーム開幕戦。気持ちを切り替えて臨みたい。 鹿児島県サッカー協会社会人委員会の皆さま、KAJIKI FCの皆さま、加治木工業サッカー部の皆さま運営ありがとうございました。
4	NIFS KANOYA FC	H	● 0 - 5	同じ学生同士の試合でお互い負けられない試合だったが、開幕から3連敗してる中、選手の自信も無くなってるように感じた。 立ち上がりからの失点。トレーニングでやったことをゲームでと思ったが、チームとしてそれも出来ない。悪循環でゲームが終了した。 確かに、チームとしてはまだまだ少しづつ成長はしてるのは感じるが、物足りない。 意識が足りない！危機感が足りない！失敗から学ぶ！改善する！選手に求め過ぎなのか？焦らず、立て直すしかない。（ぼやき）
5	川副クラブ	A	● 0 - 2	選手も少しは九州リーグに慣れてきたのか、ゲームの入りは悪くなかったが、またしても先制を許す展開になった。 若いだけに賢くサッカーをするということにはもう少し時間が掛かるかもしれない。チームは格段に成長はしている。 気になるところは多々あるが、一步一步焦らず課題に対して向き合っていくしか方法はない。 常に感謝の気持ちを忘れず日々成長していきたいと思います。 運営をして頂いた皆さまありがとうございました。
6	ジェイリースFC	H	● 0 - 9	ホームゲームにジェイリースを迎えての大分ダービー。 選手が少しづつ成長している中、今までとは違う戦い方でチャレンジしたが結果的には大差が付いたのは確かではあるが、とても充実した戦い方が出来たと感じた。 一步一步前進あるのみ。少し先を見据えて今を大事にしていく。また一週空く時間を大事にして次節に臨みたい。 今日も沢山の応援を頂きありがとうございました。一日も早く勝点を取れるようにチーム一丸となって頑張りたい。
7	日本製鉄大分	A	● 0 - 3	少しずつチーム力も上がってきた、しかも大分ダービーという事とカレッジ卒業生もいる試合で気合いを入れて臨んだ。 途中までは、失点をせずに悪い流れにならず進んでたが、段々と怪しくなってきたところで失点。 選手たちから、なんとしても勝ちたい気持ちが伝わってこない。この恵まれた環境を考えて欲しい。負けたからダメではなく、次こそはというみなぎる圧を感じたい。 日本製鉄大分の皆さま、大分工業高校の皆さま、運営ありがとうございました。
8	ヴェロスクロノス都農	H	● 0 - 4	現在首位のヴェロスクロノスとの対戦。まともに戦っても勝てないという事で、ブロックを敷いてどれだけ耐えられるかという勝負だったが、前半に2失点してしまった。 リーグに慣れつつあるが、競り合いでの強度・反応が物足りず、相手に負けている場面が多く感じた。反省を生かして次につなげていきたい。
9	KMGホールディング	A	● 1 - 4	KMGは、今日勝てば前期4位が決定するという事で、お互い気合の入ったゲームであったが、またしても先制を許してしまう厳しいゲーム展開となった。 徐々に良い形で得点を上げることが出来たが、時すでに遅く負けを喫した。勝点ゼロで前期を終了した。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
10	FC延岡AGATA	H	● 0 - 1 0	後期開幕戦という事で、気持ちを新たに臨んだ。前半は前期の成長が見られた実感があった。 後半は、対策され崩壊してしまった。大差をつけられたのはきついが出来た部分と出来なかった部分を選手が明確にしてくれたらいいと思う。 これでよいという事ではないが、残り生き残るために最善を尽くして臨みたい。AGATAの皆さま、美味しいどら焼きをありがとうございました。感謝。
11	Brew KASHIMA	A	△ 1 - 1	前期は苦汁を飲まされたKASHIMA戦。卒業生も在籍しており負けられない試合であった。 チーム事情で永吉監督がベンチの外からという秘策を投じて来たようでしたが、自分達のサッカーを90分間出し切る。仲間を信じて戦う。声を出し合うことを選手には伝えた。 今シーズン初となる先制点を上げたが、やはり勝利の女神は、簡単には微笑んでくれなかった。 結果的に1-1のドローでしたが、初の勝点を取ることが出来ました。樋口部長、美味しいミネラルウォーターをありがとうございました。 また、2日間を通して、大分県社会人委員会の皆さま、カティオーラ・トリニータ・大分大学さま運営のお手伝いありがとうございました。
12	KAJIKI F.C.	H	● 0 - 3	負けられない試合であった。選手達もこの試合の意味を理解して臨んだ試合だったはずだが、前半に失点を許す。 日頃の積み重ねで、少しずつ変化を与えて更なるゲームの質を臨んだが、上手くいかなかった。今日の敗戦でかなりのプレッシャーを強いられて戦わなくてはならない。 次週に向けてチーム一丸で、試合の準備をして臨みたい。
13	NIFS KANOYA FC	A	● 1 - 2	残り6試合。一戦一戦が降格に向けてプレッシャーのかかる試合。リーグ戦ではあるが、トーナメント戦の気持ちで戦う必要があった。 立ち上がりから良い感じでゲームに入れたが、何度かピンチもありミスをして自信をなくす場面もあったが、前半をドローで終えた。 これは、負け続けているチームではとても大きな自信になる。 後半、先制を上げる事が出来たが、その後は自分達のミスから逆転される。試合終了のホイッスルがなるまでが勝負。まだまだ、力不足。 チーム全体で本気で取り組む。難しい事ではない。やるかやらないかだけの事。次節はホーム戦。必ず1勝をする！！ チームは負ける事で、メンタルや雰囲気も下降するものである。それがプレーにも影響をもたらす。しかし、我がチームは若く、すべてはプラスの経験でしかない。 失うものは何もない。確実に他チームとの差は縮まってきている。常に自分のことと捉え、チームに貢献してほしい。NIFS KANOYAのみなさま、運営ありがとうございました。 また、遠い所まで応援に来て頂いた保護者、関係者のみなさま、差入れまでいただき誠にありがとうございました。
14	川副クラブ	H	● 0 - 2	崖っぷちの戦いが続く中、絶対に落とせないゲームであった。 結果は0-2で負けてしまったが、試合内容はようやく自分達主導でゲームを運べた試合であった。 チャンスも作りながら、決めきれなかったのが敗因だと感じた。失点に関しては、自滅での失点が目立つ。
15	ジェイリースFC	A	● 0 - 1 0	前期は全くと言っていいほど相手にならなかった。自分達の成長を見せる絶好の機会であった。 今シーズン、どの試合も基本的には自分たちのミスからの失点が続く、メンタルがやられ、チーム崩壊していく流れであった。 結果的には大量失点したが、前を向いて積極的に頑張ってくれた。チャンスも何度か作ることも出来た。 残留は厳しいものになっているが、常に向上心を忘れず、九州リーグの一戦一戦を大事に戦っていきたい。 本日、運営をして頂いたジェイリースの皆さん、カティオーラの選手達に感謝です。なお、本日も沢山の保護者、関係者の皆さま応援、差入れありがとうございました。
16	日本製鉄大分	H	○ 3 - 1	ホーム最終戦。大分ダービーで日本製鉄とのゲームであった。 開始早々、ピンチを招いたが進に連れて自分達のやりたいサッカーが出来るようになった。 前節もチャンスを生かしきれなかったが今回は得点することが出来、先制した事は成長の証。 後半に入り、相手がフォーメーションを変えた事で戸惑うことはあったが、自分達のチャンスをモノにし追加点を取ることが出来た。今季初の勝利を上げることが出来た。 残り2節、降格は決まってしまったが、最後まで収穫のあるゲームをしたい。本日も沢山の応援と支援を頂き誠にありがとうございました。